

さいたま地方裁判所 令和4年8月10日実施イベント

## 民事裁判官体験「裁判官やってみた」



令和4年8月10日、県内在住の小学5年生、6年生を対象にして、民事裁判官体験イベント「裁判官やってみた」を実施しました。15名の小学生が、次の4つのステップで、賃貸借契約の更新拒絶の「正当事由」が争点となる架空の**建物明渡請求訴訟**を題材に、裁判官の仕事を体験しました。

### ステップ1：期日準備

裁判官が尋問に立ち会う前の準備を体験してもらうため、裁判記録を模した資料を送付し、参加者に事前に読んでもらいました。

### ステップ2：尋問期日

イベント当日、裁判官から内容、判断のポイントのおさらいをしました。その後、模擬裁判（尋問）の映像を、モニターで視聴しました。



### ステップ3：評議

裁判官1名と参加者5名ごとの少人数グループに分かれ、判決を一緒に考えるという模擬評議を体験しました。皆さん、積極的に議論に参加していました。



### ステップ4：判決（全体発表）

判決言渡しに代えて、各グループの担当裁判官が各グループの評議結果を発表しました。裁判官からは「そのまま判決の理由になりそうな意見が出て驚いた」というコメントなどがありました。

## 参加した小学生の感想

### 事前送付資料について

- ・どんなことを話すのか書いてあったので、評議でどんなことを言うか考えられた。
- ・分厚かったけれど、面白くて読みやすかった。

### 尋問の映像視聴について

- ・資料にのっていないことを言っていて、聞きごたえがあった。
- ・資料での説明より映像で見た方が分かりやすかった。

### 評議について

- ・原告と被告、それぞれの立場で考えるのが難しかった。
- ・裁判官が自分の意見を上手くまとめてくれた。
- ・人によって感じるものが違うことが分かって面白かった。

### その他

- ・ドラマのように話し合って判決を決められて楽しかった。
- ・裁判官の仕事は面白そうだなと思った。
- ・一生に一度の経験だと思うので、とても楽しかった。

## 参加した保護者の感想

- ・自分の意見をしっかり持つ、さらに他の人の意見もしっかり聞くという、とても大切なことを学ぶことができた。
- ・あえて子ども向けの内容にせず、実際に社会で起こりうる問題を題材にしたところが、特に良かった。大人でも悩むような内容だったが、裁判官が上手く質問してくれて、子どもたちも意見が言いやすかったと思う。
- ・「正当事由」という難しいテーマについて、小学5、6年生の子どもが議論できたことに驚いた。良い経験をさせてもらった。

参加してくれた皆さん、  
ありがとうございました！